会報

一般社団法人
神奈川県空調衛生工業会

第137号

〔森の演奏隊〕

2017 年の全国都市緑化よこはまフェアの会場として整備された「里山ガーデン」は、春と秋に公開され、ミニコンサートなどのフェスタが開催されています

写真提供：公益財団法人 横浜市建築保全公社 理事長　二宮 智美 氏

横浜港客船フォトコンテストでの特選をはじめ、港区観光フォトコンテスト、DanceDanceDance@YOKOHAMA フォトコンテストなど多数受賞されています。

目　　次

第53回定時総会 ……1
令和2年度役員及び執行体制 ……2
令和2年度神奈川県空調衛生工業会表彰式……3
定例理事会議事報告（2月・4月・5月・6月）……5
令和元年度技術講演会開催 ……技術委員会……6
会員意識調査報告の概要 ……7
(一社)日本空調衛生工事業協会第72回定時総会……10
新役員紹介……10
会員に関わるお知らせ ……10
親睦会報告……11
今後の行事予定
編集後記

第 53 回定時総会

1　書面総会に至る経緯について

第53回定時総会につきましては、当初5月15日㈮に横浜市中区にあるロイヤルホールヨコハマでの開催を予定していました。

ところが、昨年12月に初めて中国で発生が確認されました新型コロナウイルスはイタリアをはじめとする欧州や米国で猛威を振るい、この状況にＷＨＯではパンデミックを宣言しました。

日本でも4月7日には、本県を含む7都府県を対象に緊急事態宣言が出され、その後全国に宣言が拡大されました。

こうした状況に配慮して、当工業会では4月理事会において、会員一堂が会して行う総会を中止し、書面による議決をもって行うことにしました。

議決権を持つ正会員には、5月7日付けで総会議案書を送付し、議案に対する賛否を書面で伺いました。

事務局において会員から返送された議決権行使書を集計したところ、全ての議案が全会一致で承認され、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第58条第1項に基づき、令和2年5月15日㈮に総会の決議があったものとみなされました。

2　議決事項について

第 1 号議案　令和元年度事業報告について
第 2 号議案　令和元年度決算報告及び監査報告について
第 3 号議案　令和2年度事業計画案について
第 4 号議案　令和2年度安全スローガン決議案について
第 5 号議案　令和2年度入会金及び会費分担額案について
第 6 号議案　令和2年度収支予算案について
第 7 号議案　役員の補充選出について

3　令和2年度の事業の進め方について

新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言は5月25日㈪に解除されましたが、今後も感染拡大への継続した警戒が必要です。

そこで、当工業会では、引き続き新型コロナウイルスの感染防止に努めると共に、総会で議決された令和2年度事業計画に基づき、着実に事業を実施してまいりますので、会員の皆様には、変わらずのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【令和2年度重点目標】

令和2年度事業については、働き方改革など取り巻く環境の変化や地球温暖化防止など社会的使命を果たすため、4つの重点目標を掲げ事業を推進します。

① **働き方改革の実現**
② **人材の確保・育成**
③ **フロン排出ゼロの推進**
④ **危機管理体制の強化**

令和２年度 役員及び執行体制

1. 令和2年度役員について

第53回総会議案書 第7号議案役員の補充選出が承認され、次の4名が理事に選任されました。
阿部 哲也（高砂熱学工業㈱）、**雨宮 朋之**（須賀工業㈱）、**朝倉 保幸**（㈱アクトエンジニアリング）、
島　　謙（新菱冷熱工業㈱）
また、総会後に開催された理事会（書面）で次の方が、副会長に選出されました。
阿部 哲也（高砂熱学工業㈱）、**三澤　隆**（三沢電機㈱）

2. 令和2年度の執行体制について

●理事（18名）

会長	有井　清（㈱ヨコレイ）	
副会長	阿部哲也（高砂熱学工業㈱）	＜総務・技術・安全担当＞
副会長	築地正明（㈱光電社）	＜財務・渉外・研修担当＞
副会長	三澤　隆（三沢電機㈱）	＜企画政策・情報担当＞
理事・相談役	川本守彦（川本工業㈱）	
専務理事	鈴野和重（（一社）神空衛）	＜兼事務局長＞
委員会担当理事	理事（各委員会正副委員長）	

●監事（3名）

辻村淳一（興信工業㈱）
菊地達郎（文化興業㈱）
奥津　勉（公認会計士・税理士奥津勉事務所）

●相談役（2名）

大須賀　洋（㈱光電社）
五十嵐一喜

●委員会

委員会名	委員長（理事）	副委員長（理事）	副委員長（理事外）
総務	㈱阿部哲也（高砂熱学工業㈱）	雨宮朋之（須賀工業㈱）	
財務	㈱築地正明（㈱光電社）		
企画政策	㈱三澤　隆（三沢電機㈱）	池野直規（ダイダン㈱）	三浦信之（川本工業㈱）
渉外	小松信幸（㈱小松工業）	小林範雄（東洋熱工業㈱）	
研修	東軒秀和（熱研プラント工業㈱）	朝倉保幸（㈱アクトエンジニアリング）	
情報	後藤守利（カナレイ㈱）	島　謙（新菱冷熱工業㈱）	
技術	横山順二（エルゴテック㈱）	小澤　信（㈱朝日工業社）	奥田真三（新菱冷熱工業㈱）
安全	小堀　段（興和工業㈱）	五十嵐孝之（三機工業㈱）	

令和２年度　神奈川県空調衛生工業会　表彰式

次　第

1　開　　会
2　会長挨拶
3　表　　彰
　特別功労者表彰（役員）
　特別功労者表彰（小委員会）
　会員表彰
　会員事業所役員表彰
　会員事業所従業員表彰
4　記念品贈呈
5　表　　彰
　安全スローガン表彰
6　祝　　辞
7　謝　　辞
8　閉　　会

会長挨拶　　**有井　清**

本年度の表彰式を新型コロナウイルスへの警戒から最小人数での開催としたことへのお詫びと、その分気持ちを込めて表彰状を読み上げることで受賞者に理解を求めました。また、祝辞として、各受賞者の功績に対するお礼と今後とも当工業会と業界の発展のための尽力をお願いしました。

本会会員として建築設備業に従事し、業界発展のため寄与された方々の功績を称える表彰式を6月22日㈪午前11時から横浜市中区にあるワークピア横浜2階「おしどり」で開催しました。

◇　特別功労者表彰（役員）

後藤　守利（カナレイ㈱）

◇　特別功労者表彰（小委員会）

近澤　高志（須賀工業㈱）　　渡部　淳志（エルゴテック㈱）

◇　会員表彰

小島　好人（京急電機㈱）

◇　会員事業所役員表彰

福田　耕士（㈱ヨコレイ）

◇　会員事業所従業員表彰

多田　和彦（川本工業㈱）　　谷藤　周孝（川本工業㈱）
福島　則彦（川本工業㈱）　　古木　一久（川本工業㈱）
中島　　淳（川本工業㈱）　　菊池 世欧啓（川本工業㈱）
八巻　貴大（㈱光電社）　　下出　　健（㈱光電社）
神谷　智道（㈱光電社）　　宮本　雅敏（㈱ヨコレイ）

◇　記念品贈呈

・令和元年度「公立工科高等学校現場実習生受入れ」協力会員企業
　㈱朝日工業社・エルゴテック㈱・川本工業㈱・㈱光電社・
　新菱冷熱工業㈱・高砂熱学工業㈱・三沢電機㈱

・「教員の現場研修見学会」協力会員企業
　エルゴテック㈱

・「かながわ建設フェスタin日本大通り 協同企画」協力会員企業
　TOTO㈱

◇　安全スローガン表彰

・最優秀賞　　山口　　輝（日本電技㈱）
・優秀賞　　塚原 久美子（興和工業㈱）
　　内田　裕美
　　（熱研プラント工業㈱）

特別功労者表彰（役員）

特別功労者表彰（小委員会）

会員表彰

会員事業所役員表彰

会員事業所従業員表彰

記念品贈呈

（「公立工科高等学校現場実習生受入れ」協力会員企業）

代表授受　㈱朝日工業社
廣澤 智雄氏

（「教員の現場研修見学会」協力会員企業）

エルゴテック㈱
横山 順二氏

（「かながわ建設フェスタ in 日本大通り」協同企画」協力会員企業）

TOTO㈱
小田島 誠也氏

安全スローガン表彰

（最優秀賞）

日本電技㈱
山口 輝氏

（優秀賞）

興和工業㈱
塚原 久美子氏

代表謝辞

カナレイ㈱
後藤 守利氏

定例理事会議事報告（2月・4月・5月・6月）

2 月定例理事会（第565回）

2月14日㈮午後2時からの理事会で原案どおり承認されました。

1．令和元年度決算見込みについて
2．令和2年度事業方針及び予算編成方針（案）について
3．第53回定時総会までのスケジュール（案）について

4 月定例理事会（第566回書面理事会）

原案どおり承認され、4月13日㈪に決議があったものとみなされました。

1．第53回定時総会の開催について
2．第53回定時総会提出議題について
3．役員候補者について
4．日空衛定時総会の出席予定者について

5 月定例理事会（第567回書面理事会）

原案どおり承認され、5月20日㈬に決議があったものとみなされました。

1．第53 回定時総会（書面）の議案議決結果について
2．役員人事及び会の執行体制について
3．令和2年度表彰式の開催について

6 月定例理事会（第568回）

6月12日㈮午後2時からの理事会で原案どおり承認されました。

1．令和2年度　会の執行体制について
2．令和2年度表彰式の進行について
3．行事予定について
　①　7月定例理事会の中止
　②　第54回定時総会　令和3年5月14日㈮「ロイヤルホールヨコハマ」

令和元年度技術講演会開催
技術委員会

（一社）神奈川県空調衛生工業会は、平成21年1月に『環境宣言』をおこない、『神奈川発!! 地球にいいこと、ひとつずつ』をスローガンに、全会員とともに、環境保全活動を推進することを宣言しました。

その一環として当会では、環境、エネルギー等に関しての講演会を毎年開催してまいりました。

今回は、令和2年2月17日に横浜市のご協力をいただき、ワークピア横浜で開催しました。

国土交通省標準仕様書の改訂に伴い、機械設備工事施工マニュアルの部分改訂作業を進めてまいりましたが、今回の講演会では、横浜市建築局公共建築部より「機械設備工事施工マニュアルの部分改訂（案）の概要説明」について講演をいただきました。また、神奈川県環境農政局より「改正フロン排出抑制法の概要説明」についての講演をいただき、各メーカーで取り組まれている環境対策並びに環境にやさしい機器に関する「気になる情報」として、各メーカーよりご紹介並びに講演をいただきました。

参加者は、会員48名、報道関係3名の計51名でした。

講演1部	
	・「機械設備工事施工マニュアル令和2年5月部分改訂（案）の概要説明」 講師　横浜市建築局公共建築部　営繕企画課　担当係長　深澤裕司氏
講演2部	**「神奈川発!! 地球にいいこと、ひとつずつ」の取組に関するご紹介**
	・「積水化学グループ発！地球にいい取組み」 講師　積水化学工業（株）ESG経営推進部　担当部長　三浦仁美氏 積水化学工業（株）横浜営業所　課長　玉田達也氏
	・「ヒートポンプを使った高効率リタンエアデシカント外気処理機ラデック」 講師　昭和鉄工（株）開発営業部　東日本開発営業グループ次長　石川幸次氏
講演3部	
	・「改正フロン排出抑制法の概要説明」 講師　神奈川県環境農政局環境部　大気水質課　主査　小山由美子氏

建設業を取り巻く環境は年々厳しくなっており、2015年のパリ協定により、2030年度の温室効果ガスの排出量を2013年度と比較して26％削減することが求められています。各国の削減量はバラバラではありますが、これはかなり高い目標であると思います。この目標を達成するために、企業では排出量を減らすだけでなく、環境負荷低減に対する取り組みが必要となっています。

このような背景において、我々工業会の存在意義も大きくなってきており、この講演を通じてエネルギーを扱う業界・団体として、今後もなお一層のCO_2削減、省エネルギーはもとより、未来志向で環境に配慮した企業活動を展開していく必要があるものと強く感じました。

会員意識調査報告の概要
（令和２年２月実施）

Ⅰ　はじめに

工業会では、会員の現状を把握・分析し、課題の改善及び政策提言等に役立てるため、会員企業の皆様にご協力いただき意識調査を実施し、この度報告書に取りまとめました。

会報では紙面の制約があり集計の一部の掲載となります。回答をいただいた会員の皆様には、別途調査結果の詳細を送付いたします。また、他に入手を希望される方は事務局にご連絡ください。

Ⅱ　会員意識調査実施の概要

会員企業に調査用紙を郵送及びメールで送付し、メールあるいはファックスで回収した。

(1)　依頼企業数　　73社
(2)　調査期間　　令和2年2月18日～28日
(3)　有効回答数　　62社（回答率　84.9％）

Ⅲ　会員意識調査結果の概要

１　会員の景況感について（令和2年2月、平成31年2月比較）

会員の景況感は、前年に比べると若干悪くなっており、マイナス項目の「やや悪い」と「悪い」を合わせると、平成31年が8.2％であったものが、令和2年では19.6％に増加している。

本社所在地別	年別回答企業数		会員企業の景況感（％）									
			良い		やや良い		変わらず		やや悪い		悪い	
	R２	H31	R２	H31	R２	H31	R２	H31	R２	H31	R２	H31
横浜市内	31	28	6.5	17.9	29.0	25.0	35.5	46.4	25.8	7.1	3.2	3.6
県　　内	11	13	18.2	23.1	27.3	23.1	54.5	46.2	0.0	7.6	0.0	0.0
県　　外	19	20	15.8	20.0	26.3	55.0	42.1	20.0	15.8	5.0	0.0	0.0
計	**61**	**61**	**11.5**	**19.7**	**27.9**	**34.4**	**41.0**	**37.7**	**18.0**	**6.6**	**1.6**	**1.6**

２　建設キャリアアップシステムについて

(1) 事業者登録の状況（令和2年2月、平成31年2月比較）

令和2年2月時点の登録済の割合は42.6％と平成31年2月と比べると大幅に増えているが、検討中または予定なしと回答した会員が50.8％と半数を超えている。

	本社所在地別	回答数	事業者登録の状況							
			登録済		申請中		検討中		予定なし	
			件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
令和2年	横浜市内	31	9	29.0	1	3.2	13	42.0	8	25.8
	県　　内	11	4	36.4	0	0.0	3	27.2	4	36.4
	県　　外	19	13	68.4	3	15.8	2	10.5	1	5.3
	計	**61**	**26**	**42.6**	**4**	**6.6**	**18**	**29.5**	**13**	**21.3**

(2) 事業者登録を申請していない理由

事業者登録を申請していない理由としては、「メリットを感じない」が40.6％、「登録手続きが煩雑」が24.3％と2つの理由で64.9％を占めている。その他の記載内容を見ると、まだ、具体に建設キャリアアップシステムを体験していないことで判断を保留していることも理由の一つと考えられる。

本社所在地別	回答数	事業者登録を申請していない理由（複数回答）							
		メリットを感じない		登録手続きが煩雑		登録料が高い		その他	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
横浜市内	27	9	33.4	8	29.6	3	11.1	7	25.9
県　　内	7	6	85.7	1	14.3	0	0.0	0	0.0
県　　外	3	0	0.0	0	0.0	2	66.7	1	33.3
計	**37**	**15**	**40.6**	**9**	**24.3**	**5**	**13.5**	**8**	**21.6**

3　働き方改革について

(1) 時間外労働の上限規制等の法改正への対応について

年次有給休暇の義務化に対応できるとする会員が71.2％あったのに対して、週休2日制の実現に対応できるとする会員が22.6％となっており、最も難しいのは週休2日制の実現である。

また、時間外労働の上限規制への対応では、できると回答した会員が45.0％であり、時間外労働の上限規制も過半数の会員が難しいとしている。

本社所在地別	時間外労働の上限規制				週休2日制の実現				年次有給休暇の義務化			
	できる		できない		できる		できない		できる		できない	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
横浜市内	16	53.3	14	46.7	5	16.1	26	83.9	17	58.6	12	41.4
県　　内	2	20.0	8	80.0	2	18.2	9	81.8	8	80.0	2	20.0
県　　外	9	45.0	11	55.0	7	35.0	13	65.0	17	85.0	3	15.0
計	**27**	**45.0**	**33**	**55.0**	**14**	**22.6**	**48**	**77.4**	**42**	**71.2**	**17**	**28.8**

(2) 法改正への対応が難しい理由について（複数回答あり）

法改正への対応が難しい理由では、人手不足が38.1％と最も多く、次いで発注者・元請業者の理解が得られないが24.6％、工期が短いが21.2％と続いているが、前年に比べると人手不足の割合が低くなっている。

本社所在地別	回答数	人手不足		発注者・元請業者の無理解		人件費負担に耐えられない		工期が短い		その他	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
横浜市内	70	24	34.3	15	21.4	12	17.1	16	22.9	3	4.3
県　　内	22	8	36.4	6	27.3	1	4.5	6	27.3	1	4.5
県　　外	26	13	50.0	8	30.8	2	7.7	3	11.5	0	0.0
計	**118**	**45**	**38.1**	**29**	**24.6**	**15**	**12.7**	**25**	**21.2**	**4**	**3.4**

4　公共工事への入札参加状況について

(1) 公共工事への入札参加が難しい理由について（複数回答あり）

公共工事への入札参加が難しい理由として、横浜市内に本社がある会員と県外に本社がある会員では「自社の技術者が不足している」が1位となっているが、横浜市以外の県内に本社がある会員では、「民間工事中心に受注しているため」が1位になっている。全体でみると、その他に「公共工事は手続き（入札・契約等）が煩雑」や「受注工事が十分ある」を理由に上げる会員が多い。

本社所在地別	横浜市内		県　　内		県　　外		計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	**件数**	**割合**
民間工事を中心に受注している	9	9.7	7	29.1	6	12.2	**22**	**13.3**
受注工事が十分ある	7	7.5	4	16.6	7	14.3	**18**	**10.9**
公共工事は手続き(入札・契約等)が煩雑	12	12.9	2	8.3	5	10.2	**19**	**11.5**
自社の技術者が不足している	17	18.2	3	12.5	12	24.5	**32**	**19.3**
その他	48	51.7	8	33.5	19	38.8	**75**	**45.0**
計	**93**	**100.0**	**24**	**100.0**	**49**	**100.0**	**166**	**100.0**

※割合が10％以上の項目のみ抽出

(2) 令和2年度以降の公共工事への入札参加の見通しと参加できる理由について

今後の入札参加の意向については、「積極的に参加する」、「前向きに参加する」、「条件が良ければ参加する」を合わせると90.3％となっており公共工事への参加の意欲が高いことが見られる。

しかし、「条件が良ければ参加する」が43.6％と1位であることから、過度に公共工事の入札を期待していないことも見て取れる。

今後、入札への参加が可能になる理由としては、「手持ち工事に余裕ができる」が34.1％で1位、「自社の技術者不足が解消する」が29.5％で2位にとなっており、平成31年2月の意識調査とほぼ同様の数値となっている。

本社所在地別	横浜市内		県　内		県　外		計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	**件数**	**割合**
手持ち工事に余裕ができる	10	38.5	4	50.0	1	10.0	**15**	**34.1**
制度改正や事務の簡素化が図られ、参加し易くなる。	4	15.4	0	0.0	1	10.0	**5**	**11.4**
自社の技術者不足が解消する	6	23.1	3	37.5	4	40.0	**13**	**29.5**
協力会社の協力が得易くなる	3	11.5	1	12.5	1	10.0	**5**	**11.4**
その他	3	11.5	0	0.0	3	30.0	**6**	**13.6**
計	**26**	**100.0**	**8**	**100.0**	**10**	**100.0**	**44**	**100.0**

5　ＰＦＩ（プラベイト・ファイナンス・イニシアティブ）について

(1) ＰＦＩの認知度について

会員のなかでＰＦＩを「まったく知らない」と回答した会員は5.0％と少なく、ＰＦＩが広く認知されていることがわかる。ただ、認知しているという回答の中でも「言葉の意味程度は知っている」とした会員が全体では40.0％、横浜市内に本社がある会員では61.3％おり、ＰＦＩについて周知の必要性が高いと思われる。

本社所在地別	横浜市内		県　内		県　外		計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	**件数**	**割合**
ＰＦＩに参加したことがある	2	6.5	1	9.1	5	27.7	**8**	**13.3**
参加したことはないが十分に熟知している	4	12.9	3	27.3	9	50.0	**16**	**26.7**
詳細は知らないが関心はある	5	16.1	3	27.3	1	5.6	**9**	**15.0**
言葉の意味程度は知っている	19	61.3	3	27.3	2	11.1	**24**	**40.0**
まったく知らない	1	3.2	1	9.1	1	5.6	**3**	**5.0**
計	**31**	**100.0**	**11**	**100.0**	**18**	**100.0**	**60**	**100.0**

(2) ＰＦＩのメリット感について

ＰＦＩについてどう感じているかについては、「メリットに十分なる」が全体で4.9％、「メリットにならない」が21.3％であり、否定的な意見が多い。ただ、「どちらとも言えない」が42.6％、「わからない」が31.2％と回答の1位、2位となっており、ＰＦＩに対する認知の熟度が低いことから工業会全体でＰＦＩについて評価するのは現段階では難しいと思われる。

本社所在地別	横浜市内		県　内		県　外		計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	**件数**	**割合**
メリットに十分なる	1	3.2	0	0.0	2	10.5	**3**	**4.9**
どちらとも言えない	11	35.5	4	36.4	11	57.9	**26**	**42.6**
メリットにならない	8	25.8	4	36.4	1	5.3	**13**	**21.3**
わからない	11	35.5	3	27.2	5	26.3	**19**	**31.2**
計	**31**	**100.0**	**11**	**100.0**	**19**	**100.0**	**61**	**100.0**

(一社)日本空調衛生工事業協会　第72回定時総会

5月20日㈬帝国ホテル東京において第72回定時総会が開催されました。

長谷川会長からは、今年度の総会が新型コロナウイルスの影響で大幅に縮小した開催となったこと、事業計画では脱炭素社会づくりの先導役を担うことや働き方改革として業界全体の長時間労働の是正を推進することなどが述べられた。

議事は、令和元年度事業・会計決算報告、令和2年度事業計画･収支予算案などを審議するとともに、4項目の令和2年度業界実践スローガンを決議しました。

新　役　員　紹　介

副会長　阿部（あべ）　哲也（てつや）

高砂熱学工業株式会社
令和２年４月 理事 横浜支店長
趣　味　ゴルフ

理　事　雨宮（あめみや）　朋之（ともゆき）

須賀工業株式会社
令和２年４月 執行役員 横浜支店長
趣　味　サイクリング

理　事　朝倉（あさくら）　保幸（やすゆき）

株式会社アクトエンジニアリング
令和元年６月 代表取締役
趣　味　サッカー、ゴルフ

理　事　島（しま）　謙（けん）

新菱冷熱工業株式会社
令和元年10月 横浜支社 技術一部長
趣　味　スポーツ観戦・
　　アウトドアスポーツ

会員に関わるお知らせ

《正会員》

株式会社ケイ・ワイ				
変更年月	変更事項		新	旧
令和2年2月	本社	所在地	〒240-0002 横浜市保土ヶ谷区宮田町3-320-4 横浜ケイ・ワイビル　2F	〒244-0815 横浜市戸塚区下倉田町1400-7
		ＴＥＬ	045-442-6416	045-443-6791
		ＦＡＸ	045-442-6417	045-443-6792

東都熱工業株式会社				
変更年月	変更事項		新	旧
令和2年3月	本社	代表者	代表取締役会長　林田　武	代表取締役社長　竹内 慎一郎

エルゴテック株式会社				
変更年月	変更事項		新	旧
令和2年4月	本社	代表者	代表取締役　山下　博幸	代表取締役　落合　康利

三機工業株式会社				
変更年月	変更事項		新	旧
令和2年4月	本社	代表者	代表取締役社長　石田　博一	代表取締役社長　長谷川　勉

須賀工業株式会社				
変更年月	変更事項		新	旧
令和2年4月	横浜支店	事業所代表者	執行役員 支店長　雨宮　朋之	執行役員 支店長　岩﨑　秀

第一工業株式会社				
変更年月	変更事項		新	旧
令和2年4月	横浜支店	事業所代表者	支店長　坂下　隆	支店長　内田　安紀

第一設備工業株式会社				
変更年月	変更事項		新	旧
令和2年4月	横浜支店	事業所代表者	支店長　石川　智幸	支店長　深澤　和也

高砂熱学工業株式会社				
変更年月	変更事項		新	旧
令和2年4月	本社	代表者	代表取締役社長　小島　和人	取締役会長兼社長執行役員　大内　厚
	横浜支店	事業所代表者	理事　支店長　阿部　哲也	執行役員 支店長　土谷　科長

日宝工業株式会社				
変更年月	変更事項		新	旧
令和2年4月	本社	代表者	代表取締役社長　三橋　渡	代表取締役社長　片山　勝久

株式会社ダイエイファシリティ				
変更年月	変更事項		新	旧
令和2年5月	本社	所在地	〒231-0021 横浜市中区日本大通7番地 合人社横浜日本大通7　4階	〒231-0013 横浜市中区住吉町5-65-2
		ＴＥＬ	045-264-4931	045-225-8674
		ＦＡＸ	045-264-4932	045-225-8675

株式会社協和日成				
変更年月	変更事項		新	旧
令和2年7月	神奈川支店	事業所代表者	支店長　木下　浩幸	支店長　倉本　正直

《賛助会員》

アズビル株式会社				
変更年月	変更事項		新	旧
令和2年4月	横浜支店	事業所代表者	支店長　石坂　芳人	支店長　橋本　知之

ダイキンHVACソリューション東京株式会社				
変更年月	変更事項		新	旧
令和2年4月	神奈川営業本部	事業所代表者	取締役 営業本部長 秋元　壮一	取締役 営業本部長 清水　博樹

親　睦　会　報　告

麻雀大会優勝者 大久保 勉 氏

◎令和元年度後期麻雀大会

涉外委員会主催の麻雀大会が、令和2年2月28日㈮に麻雀クラブ「ロン」において16名が参加して行われました。成績は次のとおりです。

優　勝　　大久保　勉　〔万　里　設　備　㈱〕
準優勝　　石　田　賢　治　〔三　沢　電　機　㈱〕

SINKO

ラインアップ豊富な
空調機
自社対応の
室外機
ワンストップ対応の
メンテナンス

3つの柱で快適環境を創造。

●中規模ビルから生産工場まで、様々な風量・静圧・能力設計に対応。
●外気冷房、CO2コントロールなど、制御システムは50,000パターンを用意。
●室外機の運転範囲が広く、過酷な温度条件でも安定した空調が可能。
●負荷に応じて風量を20パーセントまで絞り、省エネに貢献。
●タッチパネル操作やWeb監視で、最適な制御・運用管理を提案。
●全国に広がる拠点で、質の高いワンストップサービスを提供。

HEAT PUMP AIR HANDLING UNIT SERIES
ヒートポンプ空調機Ⅱ

◉新晃工業株式会社
www.sinko.co.jp

azbil
人を中心としたオートメーション

あすみる、
アズビル。

オートメーションで未来を描く

アズビルは、計測・制御技術を駆使して人々が快適な暮らし、安心して働くことができる環境を100年以上にわたって創り続けてきました。
これからも、お客さまに寄り添い、お客さまの現場における価値の創造により、安心で快適な未来の社会を描きます。

アズビル株式会社
ビルシステムカンパニー横浜支店
〒220-8144 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1横浜ランドマークタワー
TEL:045-224-1550 www.azbil.com/jp/

DAIKIN

店舗・オフィスエアコン【スカイエア】
FIVE STAR ZEAS

結露水洗浄+乾燥で、
エアコン内部を清潔に

水内部クリーン

発生させた結露水を利用して
熱交換器の汚れを洗い流します。

さらに
ストリーマ内部クリーンで
エアコン内部のニオイやカビを抑制!!
結露水洗浄後の送風乾燥時に、熱交換器へストリーマを照射してニオイやカビを抑えます。

ストリーマ内部
クリーンユニット
(別売品)

ダイキンHVACソリューション東京株式会社
神奈川営業本部 (045)225-3871

お客様総合窓口 ダイキン コンタクトセンター
https://www.daikincc.com

つくる人に最適を。
くらす未来に快適を。

kanzai

日本管材センター株式会社
管工機材・住宅・ビル設備機器・プラント機材、国内外総合商社

本社：〒104-8401　東京都中央区八丁堀 2-24-3 PMO ビル
TEL 03(5541)5111(大代表)　FAX 03-5541-5115

配送センター：〒136-0082　東京都江東区新木場 3-2-4
TEL 03(3522)1261(代表)　FAX 03-3522-1265

YOKOTAKI
思いをつなぐ 横滝
100th
since1919

根岸営業本部　〒231-0836横浜市中区根岸町1-13
電　話(045)623-1991　FAX(045)621-5249
元町事業部　〒231-0861横浜市中区元町5-216
電　話(045)680-0218　FAX(045)651-1892

株式会社 横滝
住宅設備機器と管工機材総合卸商社

業界初 スマホで楽々点検!
スマホをタッチするだけで、給水ユニットの運転状態が、簡単に確認できる!
デザイン一新!!
フレッシャーLINK 搭載
モデルチェンジ!
フレッシャー 3100
直結給水ブースタポンプ

F3100型

PNAGM型

専用アプリ
フレッシャーLINK
Google Play で手に入れよう
Google Playから アプリをインストール
※Android は、Google Inc. の商標または登録商標です。

スマホをタッチするだけ!

EBARA
株式会社 荏原製作所
神奈川支店
〒222-0033　神奈川県横浜市港北区新横浜 1-9-1
☎(045) 472-0611
http://www.ebara.co.jp/
※「○○○型」の表示は当社の機種記号です。

高効率を追求するテラル
テラルの新コンセプト「Triple e」による
直結増圧給水ユニット
MC5型
TERAL
Triple e シリーズ
機種選定・水理計算書のご用命は、弊社横浜営業所までお気軽にご相談ください。
第12回エコプロダクツ大賞 エコプロダクツ大賞審査委員長特別賞受賞

省電力 30%削減! (当社比)
[年間消費電力量比較]
10,340 kWh
7,176 kWh
現行型MC4
新型MC5
30% Down
[計算条件]
某マンション 総戸数111戸、地上13階建ポンプ口径50A、ポンプ出力7.5kW

軽量 最大60kg低減 32%ダウン (当社比)
新　型 MC5-5050-2.2AD 125kg
従来型 MC4-5050-2.2D　185kg

低振動
防振ゴムにより ポンプ振動を絶縁

静音 騒音が最大 5dB ダウン (当社比)

テラル株式会社
www.teral.net
横浜営業所／〒221-0031 横浜市神奈川区新浦島町1丁目1-25 テクノウェイブ100 10F
TEL.045-450-5351　FAX.045-450-5352
東京・大阪など全国9支店、47営業所

今後の行事予定

◇ 研修委員会主催「研修会」

テーマ：未定

日　時：令和2年11月16日㈪午後2時～

場　所：ワークピア横浜

＊日程等詳細は、確定次第開催通知をお送りいたします。

編集後記

紫陽花の花がすこしずつ色づき始め、梅雨の季節を感じる時期となりました。

「新型コロナウイルス」の感染が世界中に広がり、国内最初の報道は 2019 年 12 月 31 日でした。

それから 3 か月後の 4 月 7 日に緊急事態宣言が発令され、私達の生活は一変し感染を防ぐ目的で企業もリモートワークを導入し自粛生活になりました。

緊急事態宣言は解かれ、私達は「新しい生活様式」を取入れながら【コロナと共に生きる】時代へと突入しましたが、ソーシャルディスタンスという社会的距離を保ちながらも、心の距離は縮めていけるよう相手を思いやる心を持つべきだと思います。それが2次感染を防ぐことにも繋がると思います。

また、梅雨が明ければ気温が上がりマスク着用での熱中症も心配されますので、会員の皆様方には十分にお気をつけ頂き、ご健康を祈念申し上げ「会報」6月号の編集後記と致します。　（T. A）

会　報
第137号　令和2年6月30日

一般社団法人 神奈川県空調衛生工業会
横浜市中区海岸通4丁目18番地　TEL 045（201）9536（代）
U R L:http://www.shinkuei.or.jp　E-mail:info@shinkuei.or.jp

情報委員会 ／ 印刷　株式会社 ワールドフジ

VEGETABLE OIL INK
植物油インキを使用し、環境に配慮しています